

第1章 緑区制50周年を迎えて

緑区制50周年を迎え、実行委員会主催事業、緑区役所主催事業、冠事業、地域事業など、多彩な記念事業が緑区各所で開催されました。

緑区制50周年記念事業報告 緑区制50周年記念事業実行委員会 主催事業

緑区制50周年記念式典・講演会

昭和44年に緑区が誕生し、緑区制50周年を迎えたことを祝して、記念式典・講演会を開催しました。

● 開催日：令和元年10月5日(土) 13時30分～16時 ● 会場：緑公会堂 ● 参加者：426人

記念式典

- 開会の辞：緑区制50周年記念事業実行委員会総務部会長 井上敏正
- 横浜市歌斉唱
- 式辞：緑区制50周年記念事業実行委員会委員長 塚田順一、
緑区長 小野崎信之
- 記念事業報告：緑区制50周年記念事業実行委員会記念事業部会長
木村赳
- 緑区制50周年記念「こもれび躍るふれあいのまちづくり顕彰」表彰式



【受賞者】

福田昌子さん(東本郷地区連合自治会御推薦)
狩野陽二さん(鴨居連合自治会御推薦)
三浦正男さん(竹山連合自治会御推薦)
長谷川貞栄さん(白山地区連合自治会御推薦)
宮治俊雄さん(新治中部地区連合自治会御推薦)
上原精市さん(山下連合自治会御推薦)

荻谷洋さん(三保地区連合自治会御推薦)
田中賢さん(新治西部地区連合自治会御推薦)
橋川茂子さん(十日市場団地連合自治会御推薦)
岡島峯子さん(霧が丘連合自治会御推薦)
近藤光男さん(長津田自治連合会御推薦)

- 閉会の辞：緑区制50周年記念事業実行委員会副委員長 杉山郡啓

ほし 記念講演会「この地球に生きる～いま考える私たちの未来～」

奇跡の星といわれる地球に生きる私たち。これからの地球とこれからの私たちについて、惑星探査機はやぶさのプロジェクトで中心的な役割を果たした的川泰宣先生（宇宙航空研究開発機構(JAXA)名誉教授、はやぶさこども宇宙科学館館長）による記念講演会を開催しました。

はやぶさ初号機が探査した小惑星「イトカワ」には「鴨居（カモイ）」と名付けられたクレーターがあります。

はやぶさ初号機を打ち上げた当時、設計や製作、運用に深く関わっていた「NEC横浜事業場」がJR横浜線の鴨居駅近くにあったという縁から、的川先生にご講演をいただきました。

はやぶさの打ち上げと、太陽系や地球、私たち生命の起源を探るための小惑星のサンプル採集という世界初のチャレンジに、厳しい予算の中であらゆるアイデアを駆使し、チームとして個人の力を生かしながら取り組まれたというユーモアあふれるお話に、未来への勇気や希望をいただきました。

また、「ふるさと」の歌とともに月探査機「かぐや」の地球の出の映像でご講演は締めくくられ、会場全体が感動で包まれました。



的川泰宣先生

緑区制50周年記念祝賀会

緑区制50周年を皆さんと共に祝う会を開催しました。

● 開催日：令和元年10月5日(土) 17時30分～19時 ● 会場：新横浜国際ホテル ● 参加者：306人

- 開会の辞：緑区制50周年記念事業実行委員会副委員長 奥津守
- 横浜市歌斉唱：指揮 鴨居地区民生委員児童委員協議会会長 鈴木道子さん、ピアノ 山崎早登美さん
- 式 辞：緑区制50周年記念事業実行委員会委員長 塚田順一、緑区長 小野崎信之
- 鏡開き：緑区制50周年記念事業実行委員会会計 中野喜久一、監事 岡部一郎、監事 野中文字子、
緑警察署長 磯野正彦、緑消防署長 中村榮宏
- 乾 杯：緑区制50周年記念事業実行委員会会計 松浦正義
- 祝 宴
- 緑区制50周年記念演奏：ヴァイオリン 保科結太さん、ピアノ 山崎早登美さん
- 閉会の辞：緑区制50周年記念事業実行委員会副委員長 鈴木正雄
- 司 会：緑区制50周年記念事業実行委員会副委員長 横塚靖子



緑区制50周年記念事業報告 緑区制50周年記念事業実行委員会 主催事業

ミニミニミドリ
子どものまちづくりイベント Mini Mini Midori

次世代を担う子どもたちが、まちづくりに携わる楽しさを知ることを目的として、「子どものまちづくりイベント Mini Mini Midori」を開催しました。

Mini Mini Midoriの概要

Mini Mini Midoriの区民(参加者)は、小学1年生以上19歳以下の、保護者の付添なして行動できる人です。働くのも、遊ぶのも子どもたち。お店や区役所などで働くところ、まちで使えるお金「ミドル(ミ\$)」を稼げ、まちで買い物ができたり、遊んだりできます。

大人や小さいお子さんは、「シドル(シ\$)」を買って、お買い物などを楽しめます。



子ども実行委員会の活動 (平成31年1月～令和元年8月)

8月末現在：38人 【内訳】小学4年生16人、小学5年生15人、小学6年生6人、中学1年生1人

1月	20日	子ども実行委員説明会
2月	10日	都筑区の子どものまち(ミニヨコハマシティ)の企画運営会議に参加
3月	17・24日	ミニヨコハマシティ企画運営会議へ参加
	30・31日	ミニヨコハマシティ当日へ参加
4月		
5月	26日	子ども実行委員会① ●2～3月の振り返り ●どんなまちにしたいかを考える ●まちと、お金の名前を決める
6月	30日	子ども実行委員会② ●まち全体と、その中で自分がしたいことを考える ●仕事ごとにグループを作る
7月	28日	子ども実行委員会③ ●ミドル(ミ\$)の価値(30分働いた給料)を考える ●代表は「区長」とし、「区長・副区長」を選ぶため、1人あたり2票投票とする
8月	18日	子ども実行委員会④ ●子ども実行委員の“給料”のほか、お店の売上やまちに来る人にかかる“税金”について考える ●グループ毎にお仕事の準備を行う
	23日	前日準備
	24・25日	Mini Mini Midori当日 ●お仕事の責任者や店長などとして、活動する

まちの企画・運営を行う「子ども実行委員」を、小学3年生以上(1月時点)を対象として公募しました。

子どものまちについて知るため、ミニヨコハマシティ(都筑区)に参加しました。



企画運営会議



ミニヨコハマシティ当日



子どものまちの名前は、**Mini Mini Midori(MMM)**に決定しました。

どんなまちにしたいか、みんなの意見を集めました。



まちのルールを、意見をだしあい決めました。

お仕事のグループごとに、アルバイトのお仕事を考え、売るものやサービスの値段を決めました。



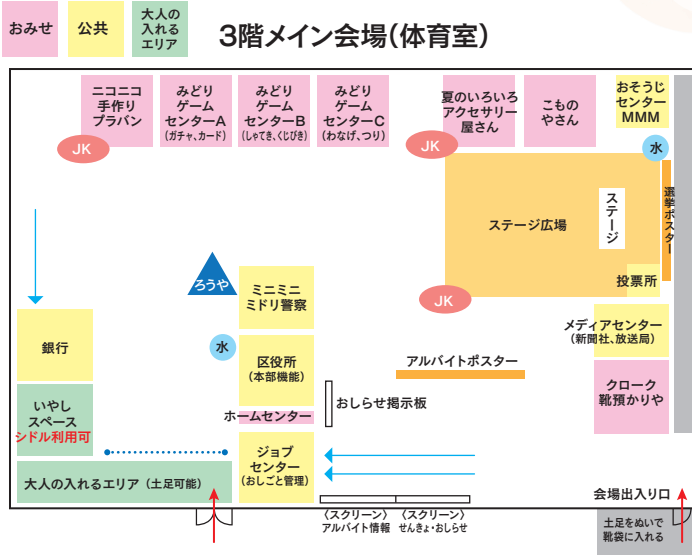
緑区制50周年記念事業報告 緑区制50周年記念事業実行委員会 主催事業



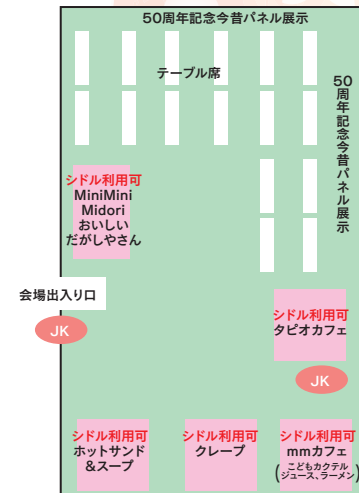
開催当日

- 日 時：8月24日(土) 11時30分～16時 8月25日(日) 10時～15時
- 会 場：中山地区センター（緑区中山2丁目1-1 ハーモニーみどり3・4階）
- 参加者：8月24日 約290人 8月25日 約300人

くぶん



4階フードコート(飲食エリア)



①最初に「学校」で、まちの仕組みを学びました。



②「ジョブセンター」で、空いているお仕事探し。



お仕事ポスター

③繰り返す。



④Mini Mini Midoriでは、区役所、警察、手作りのお店、飲食店など、色んな仕事を体験できました。



⑤稼いだミドルで食べたり遊んだりしました。



④銀行でお給料をもらいます。



Mini Mini Midoriの代表を決める、「区長選挙」を実施しました！

立候補者が3人出て、「立会演説会」を各日1回(計2回)実施しました。

参加者による投票の結果、初代区長「ゆえさん」、副区長「ももささん」、副々区長「たかちかさん」となりました。



右…副区長 ももささん
中央…区長 ゆえさん
左…副々区長 たかちかさん



緑区制50周年記念事業報告 緑区制50周年記念事業実行委員会 主催事業

緑区民まつり2019 ～緑と森のフェスティバル～

緑区が誕生してからのあゆみを振り返りながら、50周年をお祝いすると共に、これまで育まれてきた大切な絆やふるさとへの思いを区民の皆さんと共に次世代へと引き継いでいくため、「あゆみ 育むふるさと みどり ～次世代につなぐ区民まつり～」をメインテーマに、緑区民まつり実行委員会と緑区制50周年記念事業実行委員会の主催で開催されました。

● 開催日：令和元年10月20日(日) 10時～15時 ● 会場：県立四季の森公園

- 北部4区(緑、港北、青葉、都筑)の
マスコットキャラクター onステージ「緑区のあゆみ」
- 横浜音祭りダンスパフォーマンス
- 横浜市消防音楽隊(金管アンサンブル隊)
- 緑区内各地区からの推薦団体のパフォーマンス
- パノラマ観覧席 ■ 働く車大集合

※その他、環境・消費生活エリア、防災・子ども動物園エリア、ステージイベント・飲食エリア、スポーツ・健康づくりエリアなど各エリアでさまざまな企画・イベントが開催されました。



青葉区マスコットなしかちゃん、都筑区マスコットキャラクター「つづき あい」、港北区キャラクター 港北区ミズキー、緑区キャラクター ミドリ

記念ステージイベントに登場してくれた 地域の推薦団体の皆さんにインタビュー



三保小学校ハミングバード(三保地区連合自治会推薦)

全力を出し切って日頃の練習の成果を発揮し、楽しく演奏できました。演奏している時に皆さんが手拍子してくれたのも嬉しかったです。

自然が豊かなこの緑区でマーチングができる喜びを大切にしたいです。マーチングバンド全国大会の金賞を目指してこれからも頑張ります。

いつまでもこれからも三保小学校ハミングバードを応援してください。演奏を聞きに来てくれた皆さん、ありがとうございました。

鴨居囃子連中(鴨居連合自治会推薦)

拙い演奏でしたが、50周年記念のステージで無事に披露できてよかったです。

高校生・小学生が演じていましたが、非常に頑張ってくれました。まつりの前日も20時頃まで練習し、熱が入りすぎてしまったほどです。高校生8人に、小学生6人が所属し、若手も育っていますので、地域の行事などで積極的に披露していきたいです。

生まれてからずっと緑区に住んでいます。そしてこれからも住み続けるでしょう。緑区そして緑区の伝統芸能に非常に愛着がありますから。



みどりフォーム・バトン(竹山連合自治会推薦)

●お客さんを前にとっても緊張したけれど、拍手をもらってすごく嬉しかったしテンションが上がりました！練習ではバトンを落としてしまったけれど、本番では落とさずに最後まで笑顔で演技ができて楽しかったです。(出演者のお子さん)

●今日は自分たちに100点を付けたいです。今後まだまだイベントが続くので頑張ります。子どもの頃から緑区で育ち、子どもと一緒にダンスの活動ができてとても嬉しいです。子ども達と一緒に緑区が盛り上がるように今後も活動していきたいです。(関係者の大人)



レイナニ・フラ (白山地区連合自治会推薦)

本番で緊張してしまい、気持ちが落ち着くまでいくつかミスをしてしまいましたが、楽しくフラダンスを踊ることができました。

今年は横浜文化体育館など大きな会場でもフラダンスを踊りました。これからもさまざまなところでフラダンスのよさを広めていきたいです。

長くこの町に住んでいます、とても住みやすい町だと思います。これからもお友達と仲良く、楽しく緑区で過ごしていきたいです。



霧が丘連合自治会

地域と一体になりながら、子ども達と一緒にステージに立ち、霧が丘ソーランを元気に踊れて楽しかったです。今日は大成功でした！

霧が丘地区は地域と学校が一体になり、学校行事や地域行事で霧が丘ソーランを踊っています。今後も地域でこの霧が丘ソーランを継承し、大人になっても大切にしてほしいと思います。

緑豊かな自然を大切に、子どもが伸びやかな成長ができるこの緑区を大事にしていきたいですね。

東京横浜三線の会 (新治西部地区連合自治会推薦)

天気がよくて、お客さんがいっぱいいてうれしかったです。

毎年参加していますが、今年もお客さんが楽しそうに聞いてくれていて、こちらとても楽しく、いい気持ちでした。日頃の練習の成果も発揮できたと思います。

地域の「敬老の日イベント」にも、区民まつりにも毎年呼んでいただき、本当にありがたいです。

緑区は緑が多いし、人も優しくて大好きです。

この区民まつりをぜひ続けてほしいと思いますし、出続けたいと思います。



SWARM (スワーム) (長津田自治連合会推薦)

今回地域の区制50周年という記念すべきイベントに出演できて大変嬉しく思っており、感謝しています。出演予定の生徒が運動会と重なり出演できなかったことは残念でしたが、次回も地域でイベントがあればぜひ参加したいです。

緑区は地域の繋がりが強く、活動を通して地域から応援してもらっています。地域密着のサークルとしてSWARMが広く認知されるよう、子どもと大人が一緒になって今後も楽しく活動していきたいです。

山下小学校 (山下連合自治会推薦)

学年の中から有志が集まり、ダンスを踊りました。区民まつりで踊ったダンスは、運動会で踊るダンスとは違う振付だったので覚えるのが大変でしたが、楽しく踊ることができました。

横浜市立小学校体育大会でもダンスを踊る予定なので、全力で取り組みます！

緑区では夢みどりリーダー会議など緑区ならではの活動が行われていて、とてもよいと思います。あたたかい雰囲気、素直な子がたくさんいる素敵な町を大切にしていきたいです。



中山中学校他有志 (新治中部地区連合自治会推薦)

- 新治中部地区では「緑区音頭」が策定されて以来、地域の方の指導のもと、中山中学校では体育祭で、3小学校(中山小・上山小・森の台小)は運動会で、保護者・地域の方々と一緒に毎年楽しく踊るのが恒例となっています。地元各自治会の盆踊りでも緑区音頭が踊られて、小・中学生も地域の一員として輪の中に入り、踊りの輪・地域の輪が広がり盛り上がっています。区制50周年の区民まつりで、「緑区音頭」を踊れたことを光栄に思います。(代表兼演者)
- 緊張しましたが、無事緑区音頭で太鼓を叩きました。普段は地域のチームで週5日ほど太鼓を練習しています。高校生になっても太鼓を続けていきたいです。(太鼓を披露したお子さん)



緑区制50周年記念事業報告 緑区制50周年記念事業実行委員会 主催事業

緑区の“農”と“50周年”のPRイベント「わらアート」



緑区産の“わら”や“竹”を使用して、緑区の伝承に基づいた巨大なアート作品「わらアート」を制作し、緑区の“農”を象徴する田んぼに展示することで緑区の歴史や魅力をPRしました。

- 制作・展示した作品：霧が池の主の「龍」（高さ約5 m）、成長すると龍になると言い伝えられている「亀」（高さ1.3m）、霧が池の大蛇が化けた美しい娘を乗せた「馬」（高さ1.9m）



作品小「馬」と「亀」の公開制作

- 制作期間：令和元年7月29日（月）～8月8日（木）※土日除く
- 展示期間：令和元年8月13日（火）～9月20日（金）※8月17日～25日、9月3日、土日・祝日は除く
- 会場：緑区役所1階イベントスペース ●制作した作品：作品小「亀」（高さ1.3m）、「馬」（高さ1.9m）
- 制作：緑区民の制作ボランティア延べ46人 ●材料提供：稲わら（十日市場 田中氏）、竹（鴨居原市民の森愛護会）



「亀」の制作



「馬」の制作



「わら編み」作業

- 作品の紹介：緑区の伝承の中から「霧が池の伝説」と「霧が池の大蛇の伝説」に基づいた、関連性のある3作品を制作しました。
- 制作・指導：国内外でわらアート作品を手掛けている「NPO法人わらアート JAPAN」が作品のデザイン・設計・制作・指導を行いました。



作品小「馬」と「亀」の巡回展示

- 期間：令和元年9月11日（水）～11月13日（水） ●会場：小学校8校（鴨居小、竹山小、長津田第二小、新治小、緑小、三保小、山下みどり台小、霧が丘学園小学部）、養護学校1校（県立みどり養護学校）、いはる里山交流センター、緑区民文化センターみどりアートパーク、山下地域交流センター



いはる里山交流センターの「馬」



トラック上の「亀」（鴨居小学校）



緑小学校の「亀」



緑区制50周年記念事業報告 緑区制50周年記念事業実行委員会 主催事業

 作品大「龍」の制作

- 期間：令和元年11月2日(土)～11月18日(月)
- 会場：JR横浜線から見える田んぼ(緑区小山町)
- 制作した作品：作品大「龍」(高さ約5m)
- 制作：緑区民の制作ボランティア延べ54人
- 材料提供：稲わら(田んぼ所有者 落合氏)、竹(鴨居原市民の森愛護会)



「わら編み」作業

■ 11月5日



■ 11月12日



■ 11月15日



■ 11月18日(完成)

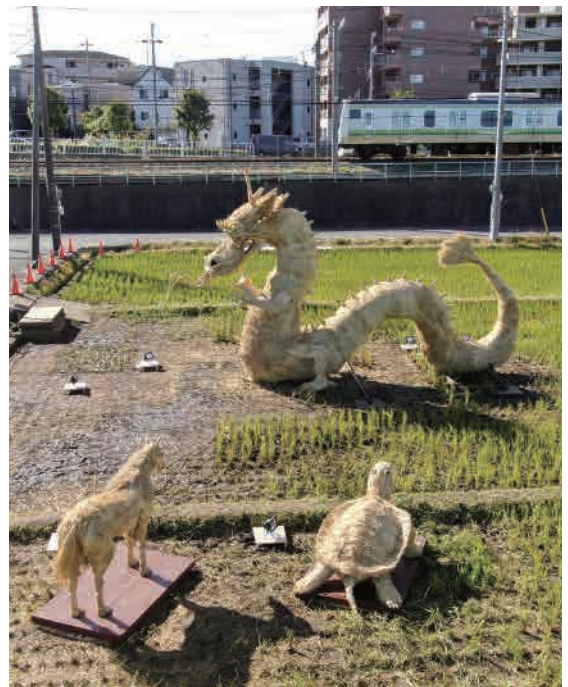


 JR横浜線から見える田んぼでの展示

- 期間：令和元年11月23日(土)～12月1日(日)
- 会場：JR横浜線から見える田んぼ(緑区小山町)



作品を楽しむ来場者



横浜線と「龍」と「馬」と「亀」
提供：神奈川新聞社

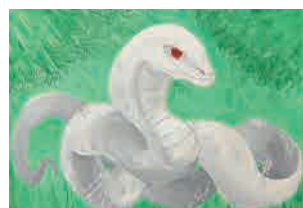


◀夜間のライトアップ

日中の様子▼



天に昇って雨を降らせた龍



霧が池に住むメスの大蛇

横浜市立義務教育学校霧が丘学園中学部美術部の皆さんが、緑区の伝承「霧が池の伝説」と「霧が池の大蛇の伝説」を紹介する絵を描いてくれました。

